



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東  
 コード番号 2708 URL https://www.kuze.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 経営サポート本部長 (氏名)加藤 広忠 (TEL)03(3987)0018  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	50,761	1.4	239	30.0	362	21.3	267	18.7
2019年3月期第3四半期	50,078	4.9	184	△28.0	298	△14.2	225	△14.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 238百万円 ( -%) 2019年3月期第3四半期 0百万円 (△100.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	72 29	—
2019年3月期第3四半期	60 89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	24,300	6,287	25.9
2019年3月期	22,564	6,165	27.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 6,287百万円 2019年3月期 6,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0 00	—	12 00	12 00
2020年3月期	—	0 00	—		
2020年3月期(予想)				12 00	12 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,500	5.3	300	34.2	400	7.4	250	19.2	67 54

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	3,882,500株	2019年3月期	3,882,500株
2020年3月期3Q	181,118株	2019年3月期	181,118株
2020年3月期3Q	3,701,382株	2019年3月期3Q	3,701,415株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、一部の消費に弱さは見られたものの、企業業績や雇用環境の改善により、引き続き緩やかな景気の拡大が継続しました。しかしながら、消費税増税による消費者心理の低下や台風等の天候不順、日韓関係の悪化による韓国人観光客の減少などにより、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましては、天候不順による原料価格の高騰や、人手不足による人件費の上昇などにより依然として厳しい状況となっております。

このような状況のもと、安定的な収益基盤の構築を最優先課題とし、中期経営計画「第4次3ヶ年中期経営計画」を定め、新規得意先の開拓及び既存得意先との関係強化に取り組むとともに、物流の環境変化に対応すべく物流費の変動費化や効率化に努め、引き続き事業ミッションに「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度No.1」の具体化に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は507億61百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は2億39百万円（前年同期比30.0%増）、経常利益は3億62百万円（前年同期比21.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億67百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、新規得意先の開拓による営業基盤の拡大と既存得意先との取引深耕に努めるとともに、取引条件の見直しや高付加価値商品及びサービスの提案を積極的に行ってまいりました。更に経営課題である物流改善については、センター業務の効率化や商品集約による在庫の適正化及び物流の変動費化、配送ルートの再編などに取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は469億22百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益（営業利益）は5億38百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食品製造を行っております。引き続きキスコフーズブランド商品の販売強化と新商品の開発、生産性の向上による効率化を鋭意進めてまいりました。

このような結果、売上高は38億56百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益（営業利益）は4億19百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は1億5百万円（前年同期比4.7%減）、セグメント利益（営業利益）は77百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億35百万円増加し、243億円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が6億59百万円、商品及び製品が10億64百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ16億12百万円増加し、180億12百万円となりました。これは主として長期借入金が増加し、5億94百万円減少し、支払手形及び買掛金が23億56百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加し、62億87百万円となりました。これは主として資本剰余金が増加し、37百万円、為替換算調整勘定が41百万円減少し、利益剰余金が2億23百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は25.9%（前連結会計年度末27.2%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,097	4,913
受取手形及び売掛金	7,679	8,338
商品及び製品	2,334	3,399
原材料及び貯蔵品	248	225
その他	661	732
貸倒引当金	△61	△58
流動資産合計	15,961	17,552
固定資産		
有形固定資産	2,411	2,426
無形固定資産	434	471
投資その他の資産		
投資有価証券	2,295	2,333
その他	1,574	1,640
貸倒引当金	△111	△124
投資その他の資産合計	3,758	3,850
固定資産合計	6,603	6,748
資産合計	22,564	24,300
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,903	13,260
1年内返済予定の長期借入金	1,257	1,054
未払金	1,341	1,372
未払法人税等	126	81
賞与引当金	242	157
その他	395	477
流動負債合計	14,267	16,403
固定負債		
長期借入金	1,278	683
役員退職慰労引当金	205	189
退職給付に係る負債	233	241
資産除去債務	84	85
その他	329	409
固定負債合計	2,132	1,609
負債合計	16,399	18,012

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	291	253
利益剰余金	4,784	5,007
自己株式	△151	△151
株主資本合計	5,227	5,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	905	915
繰延ヘッジ損益	4	—
為替換算調整勘定	10	△30
退職給付に係る調整累計額	△11	△8
その他の包括利益累計額合計	908	875
非支配株主持分	29	—
純資産合計	6,165	6,287
負債純資産合計	22,564	24,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	50,078	50,761
売上原価	40,231	40,405
売上総利益	9,847	10,356
販売費及び一般管理費	9,662	10,116
営業利益	184	239
営業外収益		
受取事務手数料	52	55
受取配当金	26	29
物流業務受託収入	29	28
その他	72	81
営業外収益合計	181	194
営業外費用		
物流業務受託収入原価	44	42
その他	23	29
営業外費用合計	67	72
経常利益	298	362
特別利益		
投資有価証券売却益	—	54
固定資産売却益	54	—
特別利益合計	54	54
特別損失		
固定資産除却損	6	0
固定資産売却損	0	—
減損損失	0	—
特別損失合計	7	0
税金等調整前四半期純利益	345	416
法人税、住民税及び事業税	88	103
法人税等調整額	23	42
法人税等合計	111	145
四半期純利益	233	270
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	225	267

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	233	270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△216	10
繰延ヘッジ損益	0	△4
為替換算調整勘定	△21	△41
退職給付に係る調整額	5	2
その他の包括利益合計	△232	△32
四半期包括利益	0	238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1	236
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	1



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	46,521	3,547	9	50,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	—	101	123
計	46,543	3,547	110	50,201
セグメント利益	514	352	85	953

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	953
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△776
四半期連結損益計算書の営業利益	184

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	46,901	3,856	3	50,761
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	—	102	123
計	46,922	3,856	105	50,884
セグメント利益	538	419	77	1,035

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,035
セグメント間取引消去	9
全社費用(注)	△805
四半期連結損益計算書の営業利益	239

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。